

人間は一人ひとりの「言葉の家」に住んでいます。心とは、その人の言葉の家です。

いかり、ねたみ、くらべの言葉に住む人は、自己自身を傷つけています。じぶんの安心の居場所がないからです。永遠のまことの言葉のない人生は、むなしさ、さびしさ、けだるさの言葉がとめどなく押し寄せます。吹きさらしの不安という言葉の家です。心が永遠の真実の言葉を求めて、叫んでいるのです。

窓をあけましょう。カーテンを開いてあたらしい言葉の風を迎えましょう。

言葉は風、言葉はひかりです。

2019年7月30日 第2刷発行

執筆：宮崎県都城市山田町山田3887
浄土真宗本願寺派 正定寺 0986-64-2078
住職 尼子 玄章

発行：櫻風舎 <https://amidonet.sakura.ne.jp/>

31

いのち

めぐ
恵まれてただ一度。
いちど

こころ

ゆるされて明日へ。
あした



30

ひとりひとでいても

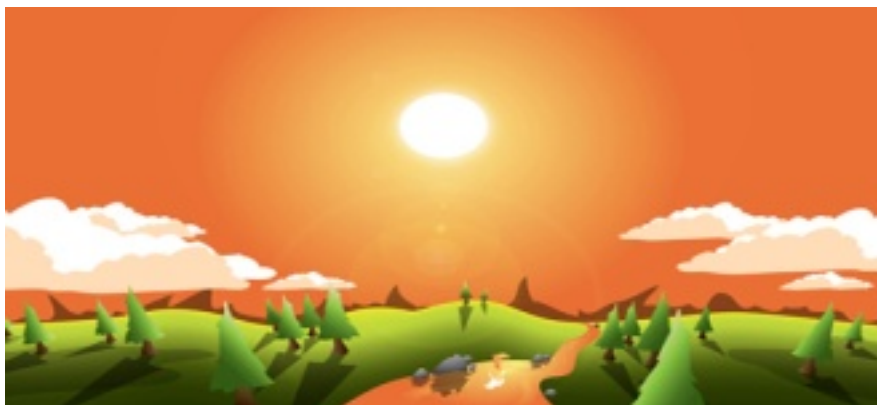
ひとりひとじやない。

ほとけほとけさまが見てみおられる。

てんてんの下、ちちの上うえに、

かくれる場所ばしよなんて

どこにもない。



29

不思議とは、

「当たり前」が

なくなつたこと。

朝眼がさめる。歩ける。

話せる。聞こえる。

あなたがいて、

わたしがいて、

ぜんぶ不思議の一瞬一瞬。



28

ほんとうの遊びには

勝ち負けも損得も

優劣のくらべも

ありません。

我を忘れて

無心に打ち込むとき

仕事も

遊びに変わります。



自由とは、自らに由る。世の中のものさしにしばられない独立心のこと。

27

今日は、きよう 恵みの真まっ只中。ただなか

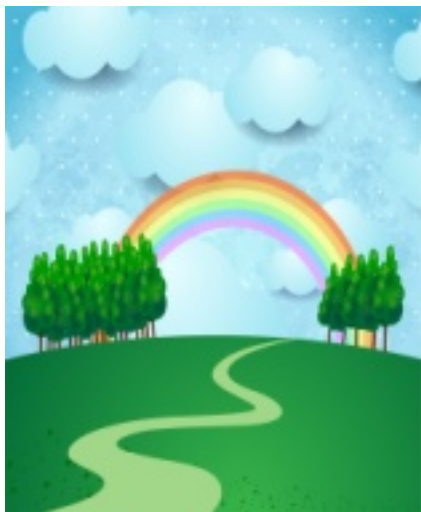
ここは、いのちの真まっ最中。さいちゆう

いのちの光ひかりの真まん中なかで

わたしは

泣ないたり

笑わらったり。



26

この世界は果てがない。

果てのない世界を

見ているこの眼この心

広くて広くて果てがない。



25

人間にんげんは一生いっしょうかけて

『自分の物語』じぶんのものがたりを描かいている。

いい物語ものがたりは、

いい言葉ことばとの

出会であいから生うまれる。

『永遠えいえんの物語』ものがたりは、

永遠えいえんの言葉ことばで綴つづられる。



24

迷^{まよ}うことが出来る。

悩^{なや}むことが出来る。

超^こえることが出来る。



23

言葉は一生の宝です。
ことば いっしょう たから

「ありがとう」

「おかげさまでです」
ほんとう ことば

本当の言葉は、

老人になっても
ろうじん ふる

古くはなりません。
ふる ぶん

いつも自分と

みんなを

幸せにします。
しあわ



22

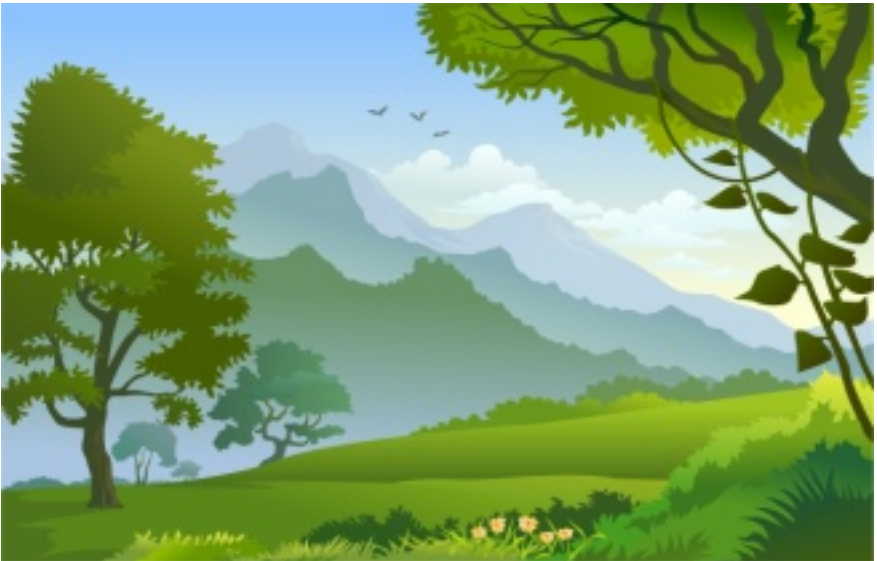
道具は、
どうぐ

買った時が
か とき

一度だけ新品。
いちど しんぴん

人間は、
いのち

いつも今が新品。
いま しんぴん



21

はたら 働いても働いても
はたら

すりへらないこの手。^て

ある ある 歩いてても歩いてても

まえ む 前を向くこの足。^{あし}

て あし じぶんの手足を

み じつと見ていたら、

なんでもできる気がした。^き



20

無駄なものむだは

一つひとつもない。

無駄むだだと思おもうのは、

心こころに

智慧ちえがないからだ。



19

牛^{うし}は水^{みづ}を飲^のんで

乳^{ちち}を成^なし、

蛇^{へび}は水^{みづ}を飲^のんで

毒^{どく}と成^なす。

『華嚴經』

おなじ水が、いのちをはぐくむ宝にもなり、いのちを害する毒にも変わります。人生の出来事一つひとつを宝にしていく源（みなもと）は、智慧（ちえ）です。



18

あま 甘い、 から 辛い、
にが 苦い、 しづ 渋い、
す 酸っぱい、 しよ 塩っぱい。
あじ いろんな味は、
あ いろんな出会いの
たの 楽しむ方を かつ おし 教えてるね。



17

おなじ掃除そうじでも

人ひとに言いわれてするのは嫌いやだ。

自分じぶんで決きめてすると

面白おもしろい。

そんな自分じぶんなんだ。

自分じぶんで、自分じぶんが面白おもしろい。



自分の人生の主人公は自分です。

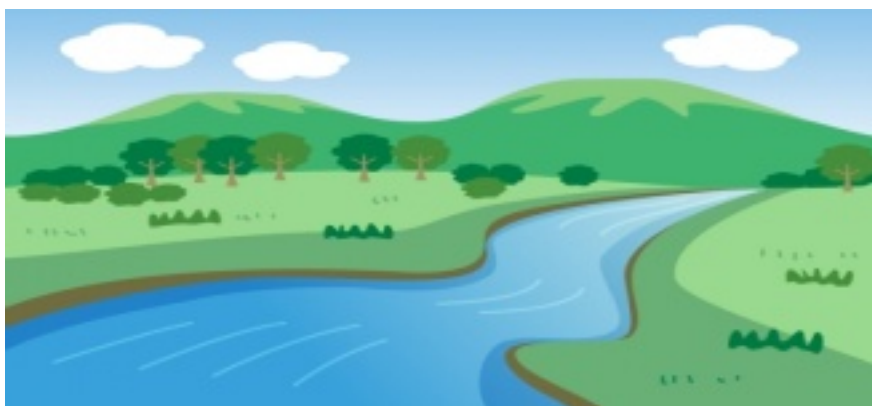
16

花^{はな}を愛^{あい}する心^{こころ}は、

花^{はな}のよう^{よう}です。

生^いき物^{もの}をいた^いた^たる心^{こころ}は、

仏^{ほとけ}さまのよう^{よう}です。



15

野山のやまにも

いろんな

花はながあるように、

人間ひとにも

それぞれ

花はなが咲さいいている。



14

あいさつは

こころ

まご

心の窓がひらく音

おと

こえ

声をだしてじぶんから

おはよう

こんにちは

ありがとう

すみません



言葉が声になるとき心と心がひらきます。美しい言葉がわたしを育てます。

13

ありがとうと言うと、

ありがとうの世界が

見えてくる。



美しい言葉のなかに花は咲く、星もかがやく。歩ける道もひらかれていく。

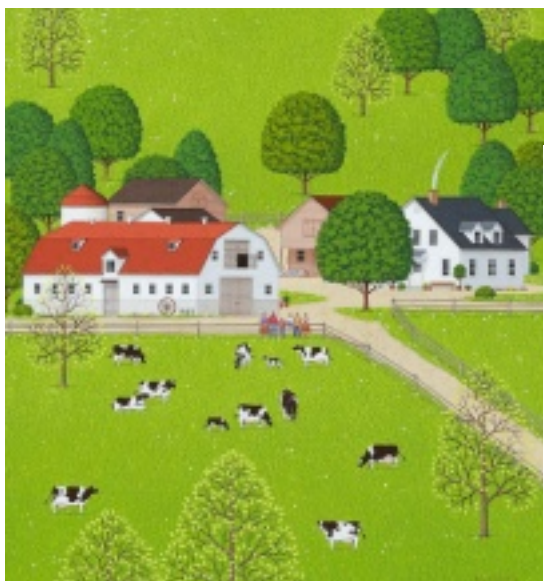
12

食べ物^{たもの}さまには

仏^{ほとけ}がござる。

両手^{りょうて}あわせて、

いただきます。



牛さん、豚さん、お魚さん、お米さん、お野菜さん、あなたの命をいただいて、わたしの命にさせていただきます。合掌・礼拝。

11

馳^はせる

走^{はし}る

と書^かいて

ご馳^ち走^{そう}さま。

わたしの知らない所で、
いつもだれかが働いて
いる。海に走り、田畑
に走り、お店に走り、
台所に走り、今日の食
べ物さまがある。
走り回ってくださった
皆さまのおかげさま。



10

人間にんげんが一番いちばんすばらしい。

人間にんげんが一番いちばんおそろしい。

心こころには鬼おにも棲すんでいる。

底そこなしの真まつ暗闇くらやみも

すぐ隣となりに。ご用心ようじん。



幸せを生み出すのは心です。心を育てましょう。

9

「もつたいない」は、

自分じぶんに向かむっていう言葉ことば。

宇宙うちゅうにたひとった独わたしりの私、

今日きょう一日いちにちもたいちどただ一度。

自分じぶんを大たいせつ切せつにしないと

ああ、もつたいない。



8

この世よは

自分じぶんを探さがしにきたところ

この世よは

自分じぶんを見みにきたところ

河井寛次郎かわい かんじろう



人生で一番ながい時間は、自分といっしょにいる時間です。大切に！

7

見^みつくせない

広^{ひろ}がりの真^まん中^{なか}に

わたしは立^たっている。



6

君きみにこの世界せかいをあげよう。
君きみの世界せかいは、
明あかるい方ほうへ
つながつている。
おもいつきり
生いきてごらん。



カボチャのつるも、明るい方へ陽のさす方へ伸びている。生命は明るい。

5

夢ゆめを思おもいついたら

大おおきな字じで書かいてごらん。

壁かべにはまいにちつて毎日見みていると

夢ゆめは「本ほん当とう」にか変わるよ。



夢は手帳に書いたとき、計画に変わります。

4

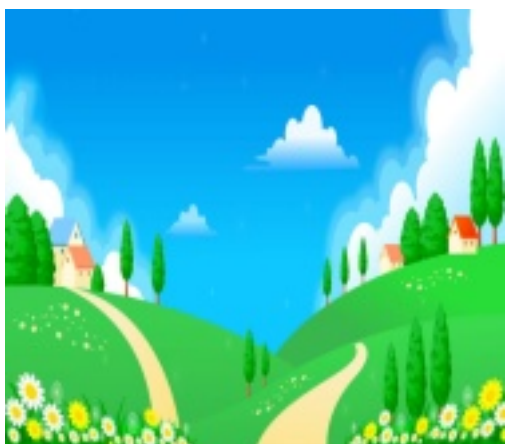
ぼくはまだ自分を知らない。

なぜ人間に生まれたのかを

知らない。

きつと一生をかけて

その謎を解くんだ。



3

さんせんそうもくしつうぶっしやう
山川草木悉有仏性

はないちりん むしいっびき
花一輪、虫一匹にも、

いのち
おやの命が

なが
流れている。

ねが
おやの願いが

こもっている。



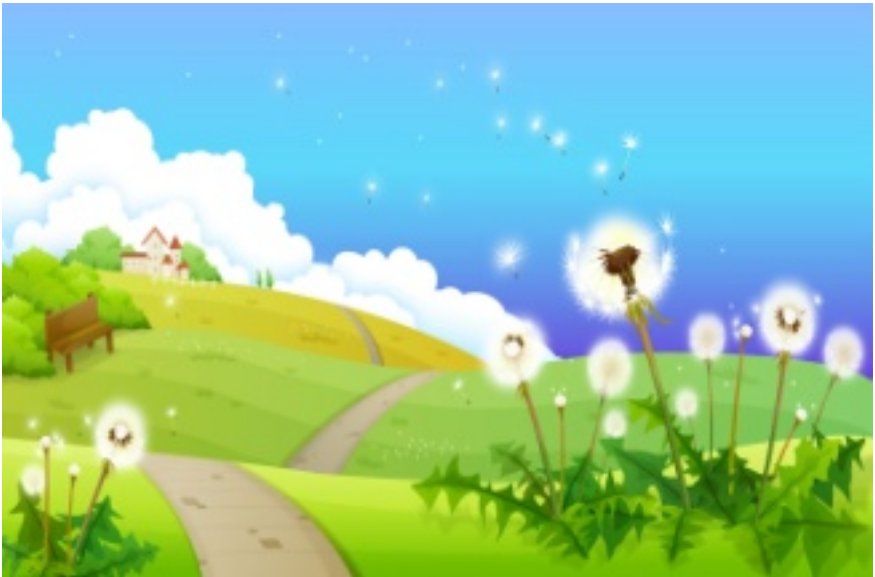
山も川も草も木も、風も波も空もみな、仏さまの命をいただいている。

2

人間にんげんに成なりたい。

喚よべばこたえる

打うてば響ひびく



1

あおい
葵ちゃんの名ぞ

おじいちゃん、一つてなあに？

あのね、一つて、いのちのことだよ。

あなたも宇宙にただひとり。

わたしも宇宙にただひとり。

葵二才六ヶ月



一輪の花にも宇宙がある。一匹の虫にも地球誕生の歴史が宿っている。

いち
いち
いち
いち
ごと

一日一語

ことば
言葉はひかり

